

守谷市若手教員育成研修会の実施

守谷市教育委員会

1 目的

- (1) 市内小中学校において、提案授業による研修会を実施し、参観した若手教員と提案授業者とで研究協議を行うことにより、若手教員の授業力の向上を図る。
- (2) 若手教員と教育長との懇談等により、教職員としての意欲・資質能力の向上を図る。
- (3) 上記(1)の研究協議において、提案授業者が教材や授業構成の工夫点等について助言することで、ミドルリーダーの育成を図る。

2 対象

- (1) 初任者・2年次・3年次
- (2) 上記(1)以外で、学校長が参加を認めた者

3 平成27年度の研修の実践

	期 日	会 場	指導者	内 容 等
第1回	5月 1日(金)	市役所 大会議室	教育長	教育長講話・懇談
第2回	6月 24日(水)	郷州小学校	鈴木 幸枝先生	授業参観(理科)・協議
第3回	10月 1日(木)	大野小学校	西嶋 稚佳子先生	授業参観(体育)・協議
第4回	12月 2日(水)	けやき台中学校	中村 進一先生	授業参観(国語)・協議
第5回	2月 16日(火)	市役所 庁議室	吉成 行夫校長	講話①
	2月 26日(金)	御所ヶ丘中学校	大谷 尚之校長	講話②
	3月 3日(木)	市役所 庁議室	慶野 好子校長	講話③

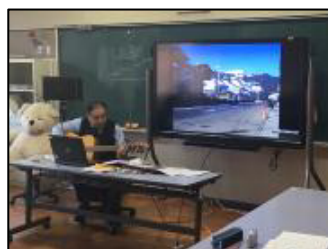
《資料1 研修の様子(守谷市ホームページ「指導室ニュース」より抜粋)》



【第1回 教育長講話】



【第5回① 吉成校長の講話】



【第5回② 大谷校長の講話】



【第5回③ 慶野校長の講話】



【第2回 小学校理科の授業】



【第3回 小学校体育科の授業】



【第4回 中学校国語科の授業】

4 研修の成果

- 年度当初の教育長講話や年度末の校長講話を通して、「教師としての自覚と責任」について研修を深めることができた。長年にわたる教師経験に裏打ちされた講話は、若手教員の職務に対する熱意と意欲を高めることにつながった。
- ミドル・ベテラン教員による授業公開では、専門教科に限らない授業参観を通して、「よりよい授業作り」のための視点を見いだすきっかけとなった。昨年度より一層、小中学校間の指導の系統性（どのように学びをつなげていくのか）についても意識を向けて参観し、自身の授業を振り返るようになった。

5 今後の課題

- 授業参観後の研究協議は、ミドル・ベテラン教員が熱意をもって進めており、参加者にとって大変有意義な研修となっている。今後は参加者が協議テーマを提案したり、自分の考えを伝えたりすることを充実させていく。
- 守谷市には素晴らしい教育実践を重ねている先生が多い。学級経営や生徒指導などの資料提供を呼びかけ、それらを共有し、若手教員で協議してみてもどうか。

《資料2 若手教員の感想より（一部抜粋）》

【教育長講話】

・研修会で心に残った言葉があります。それは、教育長がおっしゃった「経験に追いつくには、努力しかない」という言葉です。この言葉は、日々奮闘している私の背中を力強く押してくれたような気がします。先輩方の今の姿は、これまで積み重ねてきた努力があるからこそであり、それに追いつくための努力が私には必要だということが分かりました。1年後、去年はこんな事があったなあ…と振り返ることができる私でいたい、と強く思いました。（初任者）

【授業参観・協議】

・中学校の指導も小学校の指導も共通して大事だなと思う点がいくつもあり、大変勉強になりました。「なぜグループで話し合うのか」、子どもたちに目的がきちんと伝わるようにお話をされていたのが印象的でした。（2年次）

【校長講話】

・吉成校長先生の講話から、「どんな場面でも教師が『理想の児童生徒像』を明確にもち、それを具体的に伝えることが大切」であること。そして「理想に近づく手段も具体的に提示することが必要不可欠」であるということを学ぶことができました。今日は日々の自分自身を振り返る大変良い機会となりました。（3年次）

・大谷校長先生の「全ての子どもたちが特別な存在」という言葉の意味を再確認することができました。幸せでない、認められていないという子どももいるから、一人一人のアセスメントをしっかり行い、その子に合った支援をしていく必要がある。子供たちに寄り添い、厳しさと優しさを持ち、信頼関係を築いていく大切さを改めて学ぶことができました。（2年次）

・大学時代、先生に「今自分が大切にしているものは自分一人で得たものではない」と言われたことがあります。自分が大切にしてきたものを大切にしながら、子供たちがずっと大切にできるものと出会わせたい。自分が見てきたもの、これから出会うであろうものを大切に、教育について考え続けたい。慶野校長先生のお話をうかがって、強く思いました。（初任者）